

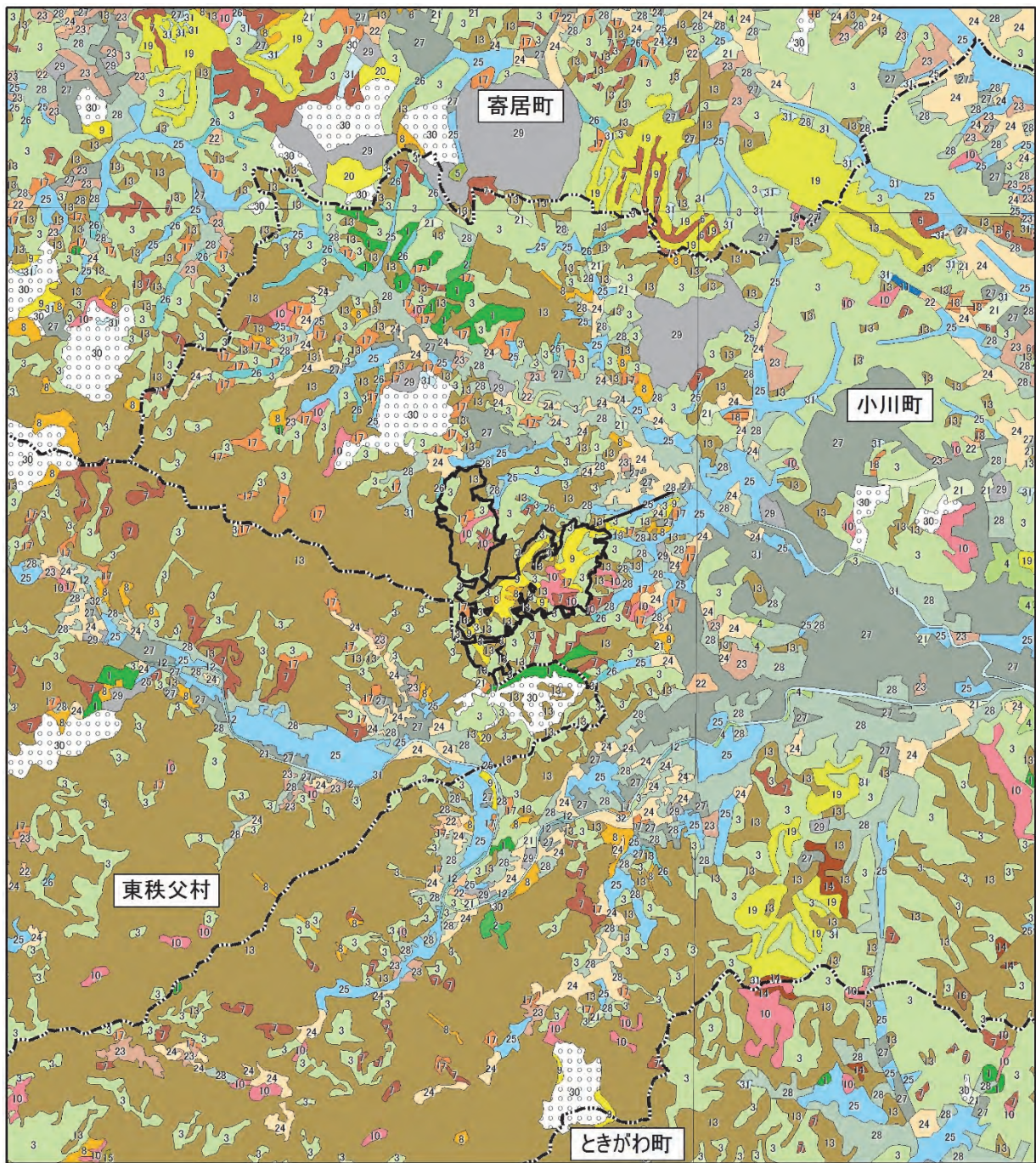
## 2) 植生

小川町は、埼玉県の中央部よりやや西、首都圏 60km 圏内に位置し、地帯は台地・丘陵帯及び低山帯に区分され、周囲を緑豊かな外秩父の山々に囲まれた地形となっている。


































対象事業実施区域及びその周辺の植生図は図 3-1-5-1 に、植生区分の詳細は表 3-1-5-19 に、対象事業実施区域内の植生区分は表 3-1-5-20 に、それぞれ示すとおりである。

対象事業実施区域周辺は、対象事業実施区域を中心として西側と東側で大きく異なっている。南西側は樹林が大半を占める山地であり、その中でも常緑針葉樹林であるスギ・ヒノキ・サワラ植林が特に優先しており、その間に落葉広葉樹の二次林であるクリーコナラ群集が小規模なパッチ上で分布している。また、山間の谷地形は水田雑草群落や畑雑草群落が分布しており、耕作地として利用されている。一方、東側は市街地としての土地利用が主であり、その周辺に水田雑草群落等の農耕地が広がり、さらに郊外は落葉広葉樹の二次林であるクリーコナラ群集の他、造成地や工場地帯として利用されている。

対象事業実施区域は急峻な斜面地形でありその大半が樹林で占められているが、樹林の植生区分の割合は常緑針葉樹林であるスギ・ヒノキ・サワラ植林及び落葉広葉樹の二次林であるクリーコナラ群集がほぼ同程度に存在しており、2つの区分が周辺の山地よりも複雑に混成している。また、対象事業実施区域内部の比較的緩やかな斜面は、伐採跡地等に成立するススキ群団 (VII) や、さらに遷移が進み主に低木で構成される伐採跡地群落 (VII) が分布しており、過去に樹林を伐採した影響が植生区分に反映されている。その他、対象事業実施区域北側及び東側に常緑針葉樹の二次林であるヤマツツジ・アカマツ群集が小規模に分布している。



凡 例

- |   |                       |   |                  |
|---|-----------------------|---|------------------|
|  | 対象事業実施区域及び関連施設        |  | 町村界              |
|  | 1 アラクシ群落              |  | 21 路傍・空地<br>雑草群落 |
|  | 2 イロハモジケヤキ群落          |  | 31 開放水域          |
|  | 3 クリーコナラ群落            |  | 22 放棄畑雑草<br>群落   |
|  | 4 クスギコナラ群落            |  | 23 果樹園           |
|  | 5 アカガシワ<br>カラスザンショウ群落 |  | 24 畑雑草群落         |
|  | 6 アカマツ群落 (VII)        |  | 25 水田雑草群落        |
|  | 7 ヤマツツジーアカマツ群落        |  | 26 放棄水田<br>雑草群落  |
|  | 8 低木群落                |  | 27 市街地           |
|  | 9 ススキ群団 (VII)         |  | 28 緑の多い住宅地       |
|  | 10 伐採跡地群落 (VII)       |  | 29 工場地帯          |
|  | 11 ヨシクラス              |  | 30 造成地           |
|  | 12 ツルヨシ群落             |   |                  |
|  | 13 スギ・ヒノキ<br>サワラ植林    |   |                  |
|  | 14 アカマツ植林             |   |                  |
|  | 15 カラマツ植林             |   |                  |
|  | 16 その他植林              |   |                  |
|  | 17 竹林                 |   |                  |
|  | 18 モウソウチク林            |   |                  |
|  | 19 ゴルフ場・芝地            |   |                  |
|  | 20 牧草地                |   |                  |

出典：「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」（2008年度・2012年度データ）  
（環境省自然環境局生物多様性センター・HP）



1:50,000



図 3-1-5-1 植生図

表 3-1-5-19 植生図における自然・代償植生等の区分

No.	植生区分	自然・代償植生等区分
1	アラカシ群落	ヤブツバキクラス域自然植生
2	イロハモミジケヤキ群集	
3	クリーコナラ群集	
4	クヌギコナラ群集	ヤブツバキクラス域代償植生
5	アカメガシワカラスザンショウ群落	
6	アカマツ群落 (V I I)	
7	ヤマツツジアカマツ群集	
8	低木群落	
9	ススキ群団 (V I I)	
10	伐採跡地群落 (V I I)	
11	ヨシクラス	河辺・湿原・沼沢地・砂丘植生
12	ツルヨシ群集	
13	スギ・ヒノキ・サワラ植林	植林地・耕作地植生
14	アカマツ植林	
15	カラマツ植林	
16	その他植林	
17	竹林	
18	モウソウチク林	
19	ゴルフ場・芝地	
20	牧草地	
21	路傍・空地雑草群落	
22	放棄畑雑草群落	
23	果樹園	
24	畑雑草群落	
25	水田雑草群落	
26	放棄水田雑草群落	
27	市街地	
28	緑の多い住宅地	
29	工場地帯	
30	造成地	
31	開放水域	
32	自然裸地	

注：表中のNo. は、図 3-1-5-1 中の番号に対応する。

出典：「統一凡例一覧表」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

表 3-1-5-20 対象事業実施区域内の植生区分

植生区分	自然・代償植生等区分	面積 (ha)	割合 (%)	植生区分の特徴
スギ・ヒノキ・サワラ 植林	植林地・耕作地植生	28.8	33.5	常緑針葉樹のスギ、ヒノキ、またはサワラの植林。
クリーコナラ 群集	代償植生	28.1	32.6	太平洋側のヤブツバキクラス域上部からブナクラス域にかけて、山地、丘陵地に成立する落葉広葉樹の二次林。4層構造となり、高木層はコナラが優占し、クリ、ミズナラが混生する。チョウジザクラ、マメザクラ、ウラジロノキ、アワブキ、ダンコウバイ、オトコヨウゾメ、コゴメウツギ、ウリノキ等で区分される。
ススキ 群団 (VII)	代償植生	17.2	20.0	ヤブツバキクラス域の放牧地、伐採跡地、畑放棄地、河川敷等に成立する多年生の高茎草原。ススキが優占し、トダシバ、チガヤ、ハチジョウススキ等が混生する。
伐採跡地群落 (VII)	代償植生	7.0	8.1	森林の伐採跡地に形成された草本群落、または高さ1m前後の落葉広葉低木群落。
低木群落	代償植生	1.8	2.1	ヤブツバキクラス域に先駆的に成立する低木群落やつる植物群落。カラスザンショウ、アカメガシワ、クサギ、ヤマグラ等の小高木または低木が優占し、林縁にはクズ等つる植物が多く生育する。
ヤマツツジ-アカマツ 群集	代償植生	1.7	2.0	ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域の低地や丘陵地の乾性立地に成立する常緑針葉樹の二次林。アカマツが優占し、林内のミツバツツジ、アブラツツジ、キハギ、ネズミサシ等により他のアカマツ群落から区別される。
竹林	植林地・耕作地植生	1.5	1.7	主としてヤブツバキクラス域に植栽される竹林。河岸や人家付近の台地脚部等に小面積で分布する。モウソウチク、マダケ、ハチクの他、九州南部ではホウライチク、ホテイチクがある。
水田雑草群落	植林地・耕作地植生	0.0 <sup>注1)</sup>	0.0 <sup>注1)</sup>	水田に成立する雑草群落。
畑雑草群落	植林地・耕作地植生	0.0 <sup>注2)</sup>	0.0 <sup>注2)</sup>	畑地に成立する雑草群落。シロザ、ツユクサ、スベリヒユ等の1年生の植物を主構成種とする。

注1：水田雑草群落の面積は約0.0085ha、割合は約0.0099%である。

注2：畑雑草群落の面積は約0.0017ha、割合は約0.0020%である。

### 3) 重要な植物群落

文献調査の結果、重要な群落は確認されなかった。

### 4) 巨樹・巨木

「第6回自然環境保全基礎調査」による対象事業実施区域周辺の巨樹・巨木の状況は表 3-1-5-21 に、分布状況は図 3-1-5-2 に示すとおりである。

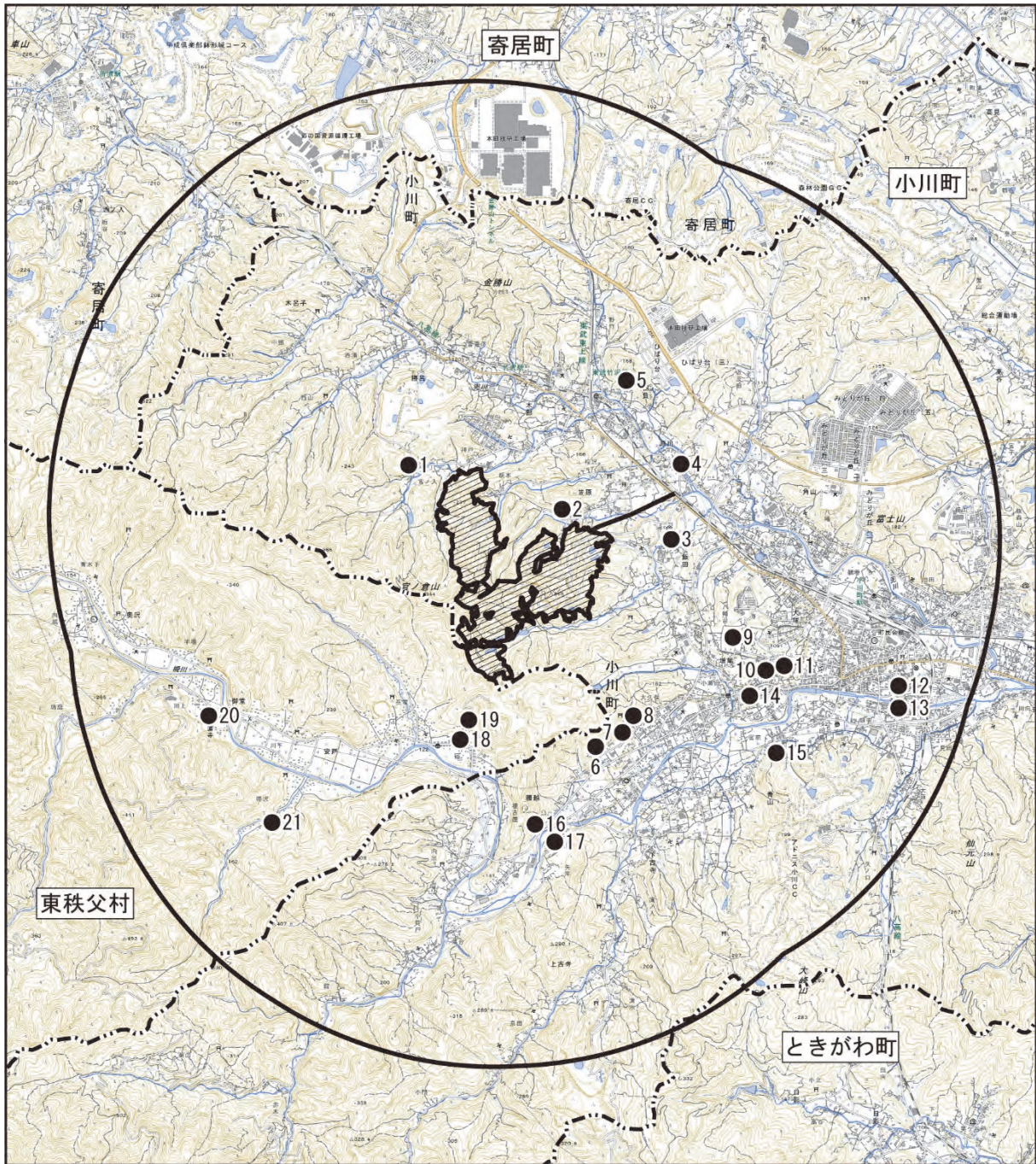
巨樹・巨木は対象事業実施区域に近接してシイノキがある。

表 3-1-5-21 対象事業実施区域周辺の巨樹・巨木の状況





図中番号	町村名	名称	樹種	幹周(cm)	樹高(m)
1	小川町	—	スギ	485	30
2		—	シイノキ	320	18
3		—	ケヤキ	386	30
4		—	ケヤキ	348	30
5		—	スギ	435	33
6		横川家のトチノキ	トチノキ	350	40
7		—	カヤ	348	27
8		—	スギ	314	30
9		—	ケヤキ	499	30
10		—	スギ	319	30
11		—	ケヤキ	360	30
12		—	ケヤキ	452	35
13		—	ケヤキ	317	30
14		—	ケヤキ	311	30
15		—	クスノキ	348	30
16		—	ケヤキ	321	30
17		—	ケヤキ	406	30
18	東秩父村	—	スギ	650	39
19		—	スギ	650	0
20		—	スギ	700	0
21		—	スギ	700	0

注：図中番号は、図 3-1-5-2 に対応する。

出典：「自然環境調査 Web-GIS」（環境省自然環境局生物多様性センターHP）



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  対象事業実施区域外周より半径 3.0km
-  ●1~21 巨樹・巨木

N



1:50,000

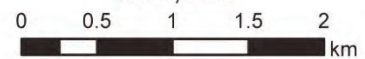


図 3-1-5-2

巨樹・巨木の分布状況

注 : 図中の番号は、表 3-1-5-21 に対応する。  
 出典 : 「自然環境調査 Web-GIS」  
 (環境省自然環境局生物多様性センターHP)

### (3) 生態系の状況

#### 1) 生態系の概要

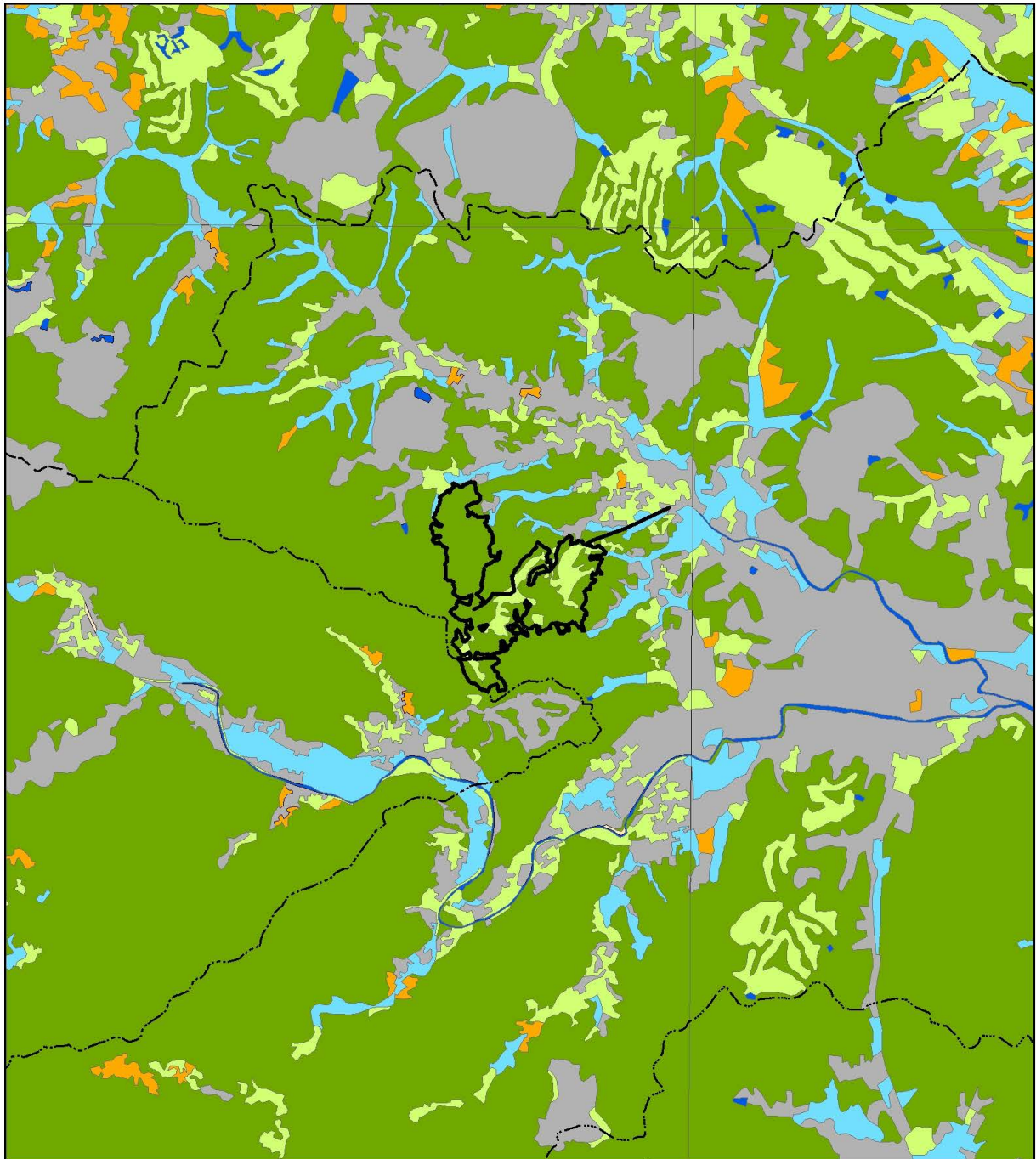
対象事業実施区域及びその周辺は、起伏に富んだ低山地とその周囲の平地で構成されている。

低山地は、スギ・ヒノキ・サワラ植林の他、クリ-コナラ群集やヤマツツジ-アカマツ群集等の二次林が広範を占め、その中に伐採跡地群落等、樹林伐採後に成立したと考えられる植生がパッチ上に分布している。また、各々の谷地形に沿って小規模な河川が流れており、その周囲の平地には水田雑草群落が広がっている。これらの特徴から、対象事業実施区域及びその周辺には、主に針葉樹林及び二次林の樹林地や草地、水田等の農耕地で構成される、里地里山の生態系が成立していると考えられる。

里地里山の生態系のうち、陸域の環境類型区分は主に水田、草地及び樹林地で構成されており、水田や草地を基盤環境とする種として、クルマバッタやヒガシキリギリス等の草地性昆虫類、ノウサギ等の草食性哺乳類、水田を産卵環境とするトウキョウダルマガエル等の両生類、それらのカエル類を餌とするヤマカガシ等の爬虫類、スズメやムクドリ等の鳥類が考えられる。また、樹林地ではオオトラカミキリ等の樹林性昆虫類、ニホンリス等の樹上生哺乳類、トウキョウサンショウウオ（成体）等の両生類、エナガやウグイス等の鳥類、アオダイショウ等の爬虫類が考えられる。さらに、陸域全体を利用する種としてイノシシ等の草食性または雑食性中型・大型哺乳類が生息していると考えられる。そして、肉食性哺乳類であるキツネや、サシバ、オオタカ等の猛禽類が陸域の環境の上位性に位置していると考えられる。

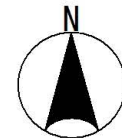
一方、水域の環境累計区分は河川・湖沼で構成されており、ヤマサナエ等の昆虫類やマルタニシ等の貝類、アブラハヤやドジョウ等の魚類、トウキョウサンショウウオ等の両生類幼生、カイツブリ等の水辺を好む鳥類の生息が考えられる。また、水域の上位性としては、カワセミ等の魚食性鳥類の他、湿潤な谷地形を含む里山の指標種である、ミゾゴイの生息が考えられる。

対象事業実施区域及びその周辺における環境類型区分図は図 3-1-5-3 に、各環境類型区分の食物連鎖模式図は、図 3-1-5-4 に示すとおりである。



凡 例

- 対象事業実施区域及び関連施設
- 町村界
- 樹林
- 草地
- 自然裸地
- 水田
- 耕作地
- 開放水域
- 市街地等



1:50,000

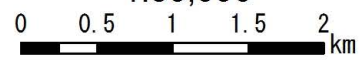
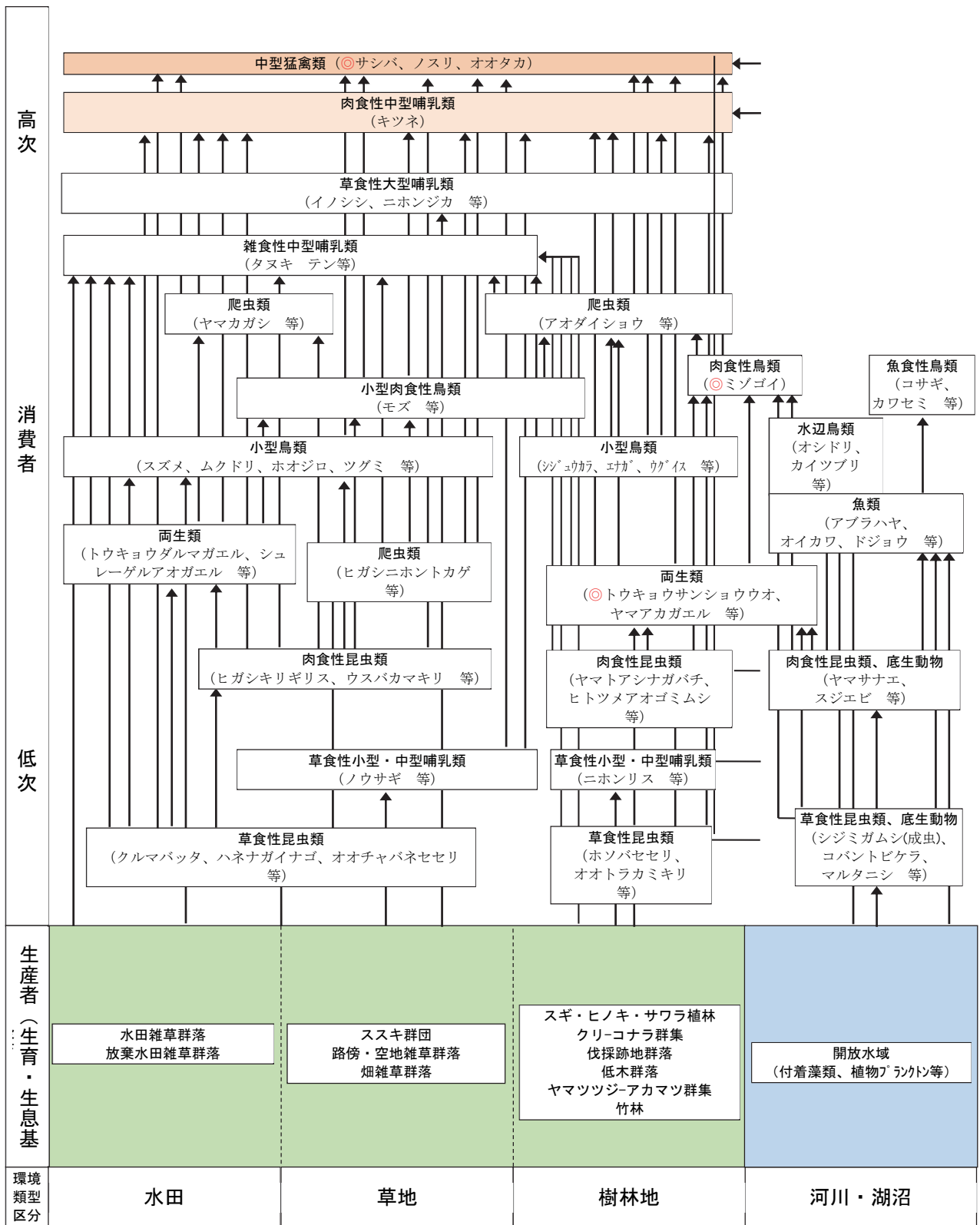


図 3-1-5-3

環境類型区分図

出典：「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」  
 (2008年度・2012年度データ)  
 (環境省自然環境局生物多様性センターHP)





注：◎は注目種候補を示す。

図 3-1-5-4 対象事業実施区域及びその周辺の食物連鎖模式図

## 2) 注目種の選定

対象事業実施区域及びその周辺の注目種として、環境類型区分別に「上位性」、「典型性」、「特殊性」の観点から動物種の抽出を行った。「上位性」では、生態系を形成する生物群集において栄養段階の上位に位置する種を、「典型性」では生態系の中で重要な機能的役割をもつ種や生物群集の多様性を特徴づける種を、「特殊性」では特殊な環境を特徴づける種や比較的小規模で周囲にはみられない環境を特徴づける種を抽出対象とした。注目種の抽出結果一覧は、表 3-1-5-22 に示すとおりである。

表 3-1-5-22 注目種の抽出結果一覧

注目種の区分	種名	選定理由
上位性	サシバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘビ類やトカゲ類、カエル類等の小動物やバッタ等の昆虫類を餌として、食物連鎖の上位に位置する鳥類である。</li> <li>営巣環境である樹林地や採餌環境である水田及び草地等、里地・里山を構成する環境類型区分を生息基盤としており、食物連鎖の上位に位置する種の中でも調査地域に生息している可能性が高いことから、上位性として選定した。</li> </ul>
典型性	ミゾゴイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平地から低山帯の広葉樹林及び針広混交林に生息し、ミミズ類や甲虫等の土壌動物、沢に生息する水生生物等を餌とする鳥類である。</li> <li>樹木が発達し樹冠に覆われた薄暗い谷地形を繁殖環境とし、起伏に富む斜面地形が多く、コナラ等の二次林が多く生育する調査地域の環境を指標する種であることから、典型性として選定した。</li> </ul>
特殊性	トウキョウサンショウウオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>丘陵地や低山帯の雑木林等に生息し、幼生はユスリカ等の小さい水生生物、幼体及び成体は土壌動物を餌とする両生類である。</li> <li>本種の生息のためには、産卵環境及び幼生の生息環境である湧水等の止水域と幼体及び成体の生息環境である樹林地が近接して存在する必要がある、そのような環境は調査地域でも比較的に限られると考えられることから、特殊性として選定した。</li> </ul>

### 3) 重要な自然環境のまとまりの場

対象事業実施区域及びその周辺の自然環境について、重要な自然環境のまとまりの場の抽出を行った。抽出された重要な自然環境のまとまりの場は表 3-1-5-23 に、その分布状況は図 3-1-5-5 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周辺には自然環境のまとまりの場として、自然公園及び鳥獣保護区等がある。

なお、対象事業実施区域には、重要な自然環境のまとまりの場は含まれない。

表 3-1-5-23 重要な自然環境のまとまりの場

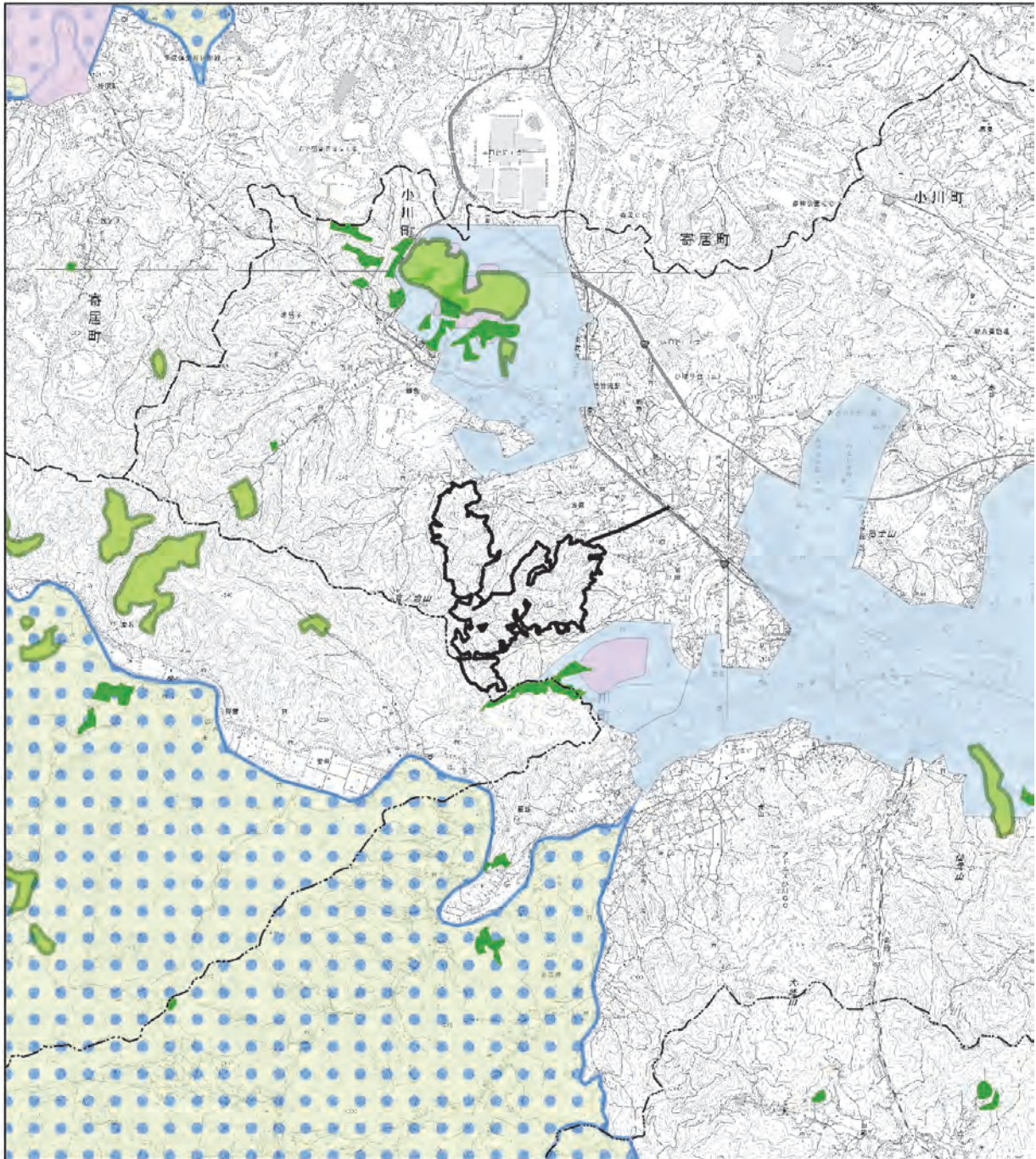
No.	重要な自然環境のまとまりの場		抽出理由
1	まとまりのある自然植生	自然林	環境省の植生図によるヤブツバキクラス域自然植生が分類するまとまりのある自然植生である。
2	自然公園	県立長瀬玉淀自然公園	荒川中流域に広く分布する三波川変成岩類による特有な溪谷をなし、紅簾片岩や石墨片岩・緑泥片岩などの結晶片岩からなる長瀬の岩畳は、自然科学の宝庫であり、関東でも有数の景勝地である。陽だまりのある山里では、春になると花桃の一群があちらこちらで広がる。
3	保安林		水源のかん養林、土砂の崩壊その他の災害の防備機能を有する緑地、地域においての重要な機能を有する自然環境である。
4	鳥獣保護区、特定猟具使用禁止区域(銃)		鳥獣の保護を図るため、保護の必要があると認められる地域である。

出典：「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」（2008年度・2012年度データ）  
（環境省自然環境局生物多様性センターHP）

：「管内の自然公園」（埼玉県環境部東松山環境管理事務所HP）

：国土数値情報ダウンロードサービス（国土交通省HP）

：令和2年度埼玉県鳥獣保護区等位置図（令和2年10月、埼玉県環境部みどり自然課）



凡 例

- 対象事業実施区域及び関連施設
- 町村界
- 自然林
- 鳥獣保護区
- 特定猟具使用禁止区域(銃)
- 保安林
- 自然公園(普通地域)

出典：「第6回・第7回 自然環境保全基礎調査」  
 (環境省自然環境局生物多様性センターHP)  
 「埼玉県の自然公園」(埼玉環境部みどり自然課HP)  
 国土数値情報ダウンロードサービス(国土交通省HP)



1:50,000

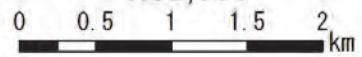


図 3-1-5-5

重要な自然環境の  
まとまりの場

### 3-1-6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

#### (1) 景観の状況

##### 1) 景観資源及び主要眺望点の状況

対象事業実施区域及びその周辺の景観資源は表 3-1-6-1 に、主要な眺望地点は表 3-1-6-2 に、位置は図 3-1-6-1 に示すとおりである。

対象事業実施区域最寄りの景観資源としては、北側約 1.1km にある東武鉄道東武竹沢駅駅舎がある。対象事業実施区域を眺望できる眺望点は、官ノ倉山や県立小川げんきプラザ等がある。

表 3-1-6-1(1) 対象事業実施区域周辺の景観資源

町村名	図中番号	区分	景観資源名称	景観資源の概要
ときがわ町	●1	公園・広場	雀川砂防ダム公園	昭和 63 年度に完成した重力式砂防ダムである雀川砂防ダムの建設に伴い、自然環境を保全することを目的にときがわ町（旧玉川村）により整備された公園である。 緑豊かな山並みと雀川の清らかな水に囲まれた園内では、咲き誇るアジサイの花や飛び交うホタル等、四季折々の自然を楽しむことができる。
小川町	●2	建築物	割烹旅館二葉本店本館	小川町駅から徒歩 3 分の場所に位置しており、県道駅通り線に面する。創業は寛延元年（1748）「忠七めし」で知られる老舗割烹旅館である。本館は当時における一流の用材と職人の手による数寄屋様式で造られている。 国の登録有形文化財に指定されている。
小川町	●3	建築物	カタクリとオオムラサキの林休憩所兼展示場	カタクリの群生地に、蝶のオオムラサキのおおらかさを屋根や構造材で表現した、休憩所を兼ねたオオムラサキの展示場である。国蝶であるオオムラサキをはじめ、世界中の蝶や昆虫が展示している。 また、周りの豊かな緑とともに人々に憩いの場を提供している。 平成 5 年度の彩の国景観賞を受賞している。

表 3-1-6-1(2) 対象事業実施区域周辺の景観資源

町村名	図中番号	区分	景観資源名称	景観資源の概要
小川町	●4	建築物	小川町立図書館	和紙のまちとして古い街並みを残す小川町につくられたこの図書館は、白壁と瓦の蔵を外観のデザインモチーフとして環境になじませている。ガラスに和紙を挟んだり、床や壁に地元産の青石を使う等、町民に親しまれる配慮がなされている。 平成13年度の彩の国景観賞を受賞している。
小川町	●5	建築物	東武鉄道東武竹沢駅駅舎	駅の両側に高低差があるため、高い方の屋根は周辺の山並みになじむよう丸みを帯びた段々とし、低い方の屋根は水平性を強調した軽やかなデザインとする等、それぞれの立地を考慮して計画された。外壁は下見板を用い、全体をグレー系の色でまとめ、落ち着いた雰囲気仕上げています。 平成9年度の彩の国景観賞を受賞している。
東秩父村	●6	建築物	細川紙紙すき家屋	17世紀末（江戸時代）に建てられた、紙漉き農家を移築・復原した建物である。 近世～近代において細川紙の紙漉きが盛んに行われていた頃の一般的な紙すき家屋である。寄棟造り、茅葺きの中規模農家であり、細川紙手漉和紙関係用具の収集の一環として、大字奥沢の江原義貞氏から東秩父村が譲り受け、移築復元したものである。 埼玉県指定有形民俗文化財として、昭和49年3月8日に指定されている。
小川町	●7	鍾乳洞	古寺鍾乳洞	古寺鍾乳洞は下古寺の槻川の支流で、金嶽川左岸の山際にあり、長さ約50メートル、高さは約1～6mである。「新編武蔵風土記稿」にも「岩窟」と紹介される等古くから「名所」として知られる。

注：図中番号は、図 3-1-6-1 に対応する。

出典：「景観資源データベースシステム」（令和元年6月、埼玉県都市整備部田園都市づくり課HP）

出典：「第3回自然環境保全基礎調査 埼玉県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）

出典：「閉鎖から48年 眠る岩窟、保存活用へ一歩踏み出す 小川・古寺鍾乳洞、土地所有者が町に寄付」

埼玉新聞 平成30年9月6日記事

表 3-1-6-2 対象事業実施区域周辺の主要な眺望地点

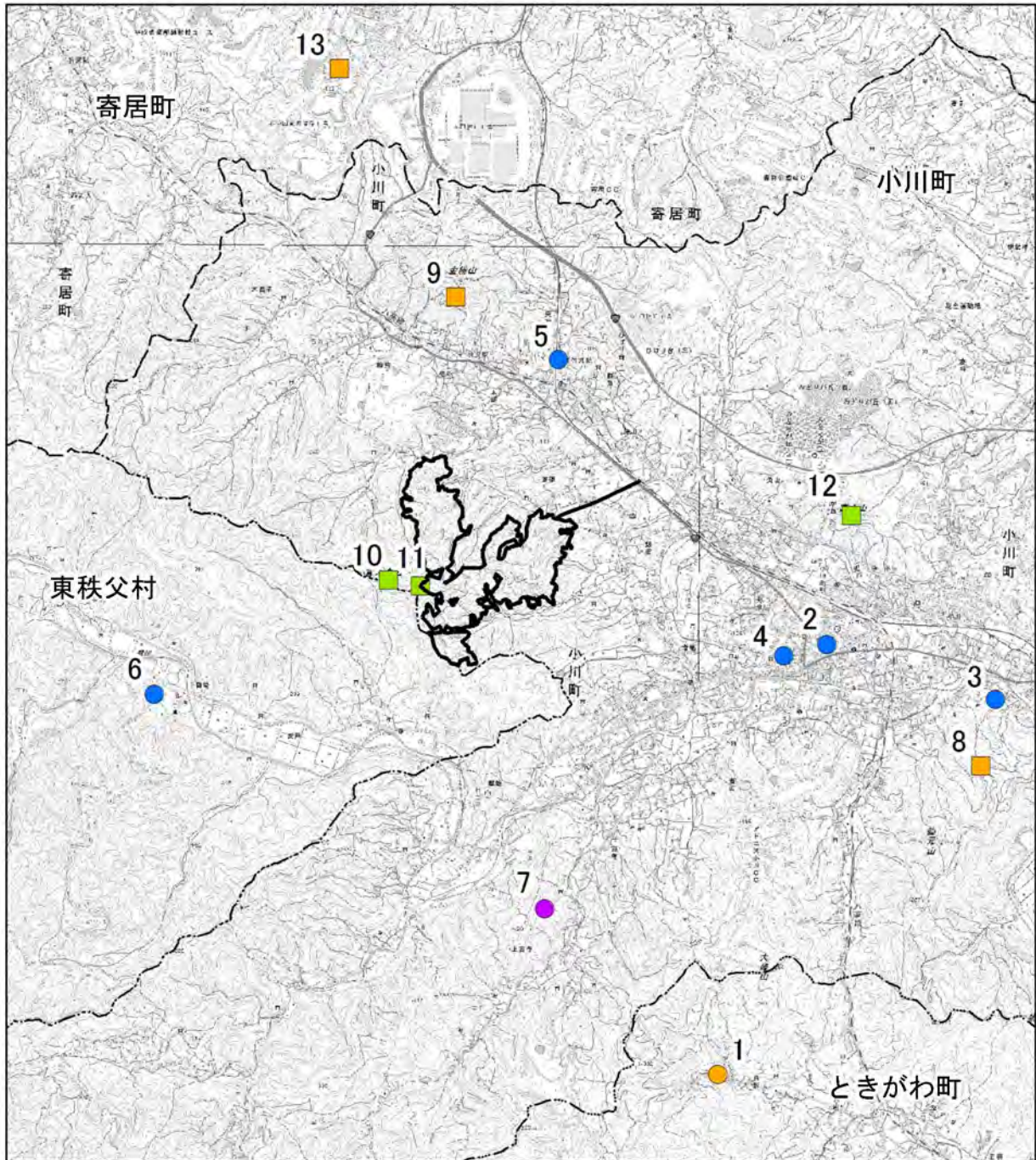
町村名	図中番号	眺望地点名称	眺望点の概要
小川町	■8	見晴らしの丘公園	仙元山の中腹にある自然を生かした公園で、小川町を眼下に眺めながら滑り降りる全長 203m のローラー滑り台は子供から大人まで楽しめる。 併設する展望台からは、小川町はもちろん近隣の町や遠く北関東の山々まで見渡せる。
小川町	■9	県立小川げんきプラザ	裏金勝山、前金勝山等いくつかの峰々の集合である金勝山（標高 264m）の山頂を中心にした広い敷地内に、宿泊施設やプラネタリウム館、野外活動施設等がある。
小川町、東秩父村	■10	官ノ倉山	標高が 344m と比較的低い山だが、その行程は変化に富み、小川町のハイキングコースとして利用客が多い。また、360 度のパノラマが楽しめる。
小川町	■11	石尊山	官ノ倉山の東部に隣接する山で、こちらからも 360 度のパノラマが楽しめる。小川町のハイキングコースとして利用客が多い。
小川町	■12	富士山	標高 183m の山頂には電波塔、三角点と富士仙元大菩薩の石碑がある。
寄居町	■13	三ヶ山緑地公園	寄居町が一望できる展望台「風のとりで」、円形広場、ちびっこ広場、あずまや等が配置されている。

注：図中番号は、図 3-1-6-1 に対応する。

出典：「観光スポット」（小川町観光協会 HP）

出典：「東秩父村公式観光サイト ひがしちちぶ」（東秩父村産業建設課 HP）

：「三ヶ山緑地公園」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部環境整備センターHP）



凡 例

▭ 対象事業実施区域及び関連施設

----- 町村界

景観資源(1~7)

主要な眺望点(8~13)

● 公園・広場

■ レクリエーション

● 建築物

■ 登山

● 鍾乳洞

注 : 図中の番号は表 3-1-6-1、表 3-1-6-2 に対応する。  
 : 「観光スポット」 (小川町観光協会 HP)  
 : 「東秩父村公式観光サイト ひがしちちぶ」  
 (東秩父村産業建設課 HP)  
 : 「三ヶ山緑地公園」  
 (令和 2 年 12 月、埼玉県環境部環境整備センターHP)



1:50,000

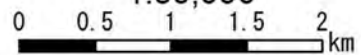


図 3-1-6-1

景観資源及び  
主要な眺望点位置図



(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

対象事業実施区域周辺の人と自然との触れ合いの場を表 3-1-6-3 に、位置は図 3-1-6-2 に示すとおりである。

対象事業実施区域内に官ノ倉山ハイキングコースがある。また、公園等は北側約 200m に位置する深田第 1 公園等がある。

表 3-1-6-3(1) 対象事業実施区域周辺の主要な人と自然との触れ合いの場（ハイキングコース等）

No.	内容	
A	小川町健康長寿 ウォーキングマップ	(1) 万葉の歌と八幡台史跡めぐりコース
B		(2) 町並みと栃本親水公園をめぐるコース
C		(3) 下小川の歴史と自然をめぐるコース
D		(6) 歴史を偲ぶ腰越城コース
E		(7) 腰越二区周辺コース
F		(8) 西中学校～穴八幡コース
G		(9) 慈眼寺コース
H		(10) 腰中コース
I		(11) 竹沢公民館周回コース
J		(12) 東武竹沢駅周回コース
K		(13) 東武竹沢駅～国道 254 バイパス周回コース
L		(19) みどりが丘コース
M		小川町ハイキング コース
N	お寺と手すき和紙のふるさとを訪ねるコース	
O	小川町南部外輪山下里コース	
P	官ノ倉山ハイキングコース	
Q	館川ダムを訪ねるコース	
R	慈光寺・館川ダムハイキングコース	
S	武田氏ゆかりの地から埼玉伝統工芸会館を訪ねるコース	
T	東秩父村ハイキング マップ	官ノ倉ハイキングコース
U		笠山峠ハイキングコース
V	小川町登山 コース	腰越城跡から官ノ倉山までの山道

注 1：図中番号は、図 3-1-6-2 に対応する。

注 2：小川町ハイキングコースは、バスルートは除いた。

出典：「小川町健康長寿ウォーキングマップ」（小川町健康福祉課 HP）

：「おがわまちロードマップ・タウンガイド」（小川町観光協会 HP）

：「ハイキングコース案内」（東秩父村産業建設課 HP）

表 3-1-6-3(2) 対象事業実施区域周辺の主要な人と自然との触れ合いの場（公園）

No	内容	名称	所在地
●1	公園	栃本親水公園	小川町大字青山 948 他
●2		見田公園	小川町大字青山 557-2 他
●3		春日公園	小川町大字大塚 264-1
●4		腰越公園	小川町大字腰越 444-1 他
●5		蟹沢沼緑地	小川町大字大塚 691
●6		陣屋沼緑地	小川町大字大塚 339 他
●7		鶴巻公園	小川町大字大塚 1225-14 他
●8		御門公園	小川町大字大塚 921-22
●9		大豆五駄第 2 公園	小川町大字小川 740
●10		深田第 1 公園	小川町大字木部 293-68
●11		深田第 2 公園	小川町大字勝呂 44-121
●12		梶山公園	小川町大字高谷 2496-44
●13		飯森山公園	小川町大字高谷 1233-36
●14		旭ヶ丘公園	小川町大字高谷 2580-28
●15		寺峰西公園	小川町大字大塚 496-32
●16		寺峰東公園	小川町大字大塚 498-99
●17		小川南公園	小川町大字小川 369-5
●18		角山公園	小川町大字角山 223-7 他
●19		槻川親水公園	小川町大字小川 327
●20		小川北公園	小川町大字小川 485-4
●21		みどりが丘芹沢公園	小川町みどりが丘 1-8-19
●22		みどりが丘中央公園	小川町みどりが丘 3-20-2
●23		みどりが丘長谷公園	小川町みどりが丘 4-1-13
●24		みどりが丘北越公園	小川町みどりが丘 3-17-2
●25		みどりが丘段公園	小川町みどりが丘 2-7-14
●26		みどりが丘末広公園	小川町みどりが丘 5-21-11
●27		みどりが丘北台公園	小川町みどりが丘 4-24-2
●28		青山公園	小川町大字青山 385-1
●29		青山第 2 公園	小川町大字青山 2426-58
●30		通木公園	小川町大字靱負 587-1
●31		杉ノ木公園	小川町大字大塚 1216-17
●32		白樫公園	小川町大字小川 516-2
●33		天神谷公園	小川町大字木部 864-18
●34		的場公園	小川町大字大塚 652
●35		三ヶ山緑地公園	寄居町大字三ヶ山 368
●36		陣川橋水辺公園	東秩父村御堂 364 他

注：図中番号は、図 3-1-6-2 に対応する。

出典：「おがわ（施設）マップ」（小川町 HP）

：「子育て応援ブック」（平成 27 年 9 月、寄居町子育て支援課 HP）

：「川遊び」（東秩父村産業観光課 HP）

表 3-1-6-3(3) 対象事業実施区域周辺の主要な人と自然との触れ合いの場（その他の施設）

No	内容	名称	所在地
■37	スポーツ施設	八幡台グラウンド	小川町大字大塚 440
■38		小川町立武道館	小川町大字高谷 2510
■39		安戸グラウンド	東秩父村大字安戸 386
■40		御堂テニスコート	東秩父村大字御堂 486
■41		触れ合い広場	東秩父村大字御堂 549
■42	キャンプ場	埼玉県立小川げんきプラザ	小川町大字木呂子 561
■43	神社・寺院	東昌寺	小川町角山 293
■44		大塚八幡神社	小川町大塚 427
■45		妙栄山 浄蓮寺	東秩父村大字御堂 362
■46	農園	レクリエーション農園	東秩父村大字御堂 441
■47		岡本自然農園	小川町青山 1280
■48	体験施設	小川町和紙体験学習センター	小川町大字小川 226
■49		道の駅 和紙の里ひがしちちぶ	東秩父村大字御堂 441
■50	観光案内所	観光案内所「楽市おがわ」	小川町大字小川 1220
■51	温泉施設	おがわ温泉 花和楽の湯	小川町大字角山 26-2

注：図中番号は、図 3-1-6-2 に対応する。

出典：「おがわ（施設）マップ」（小川町 HP）

：「小川町子育て応援ナビ」（小川町 HP）

：「観光スポット」（小川町観光協会 HP）

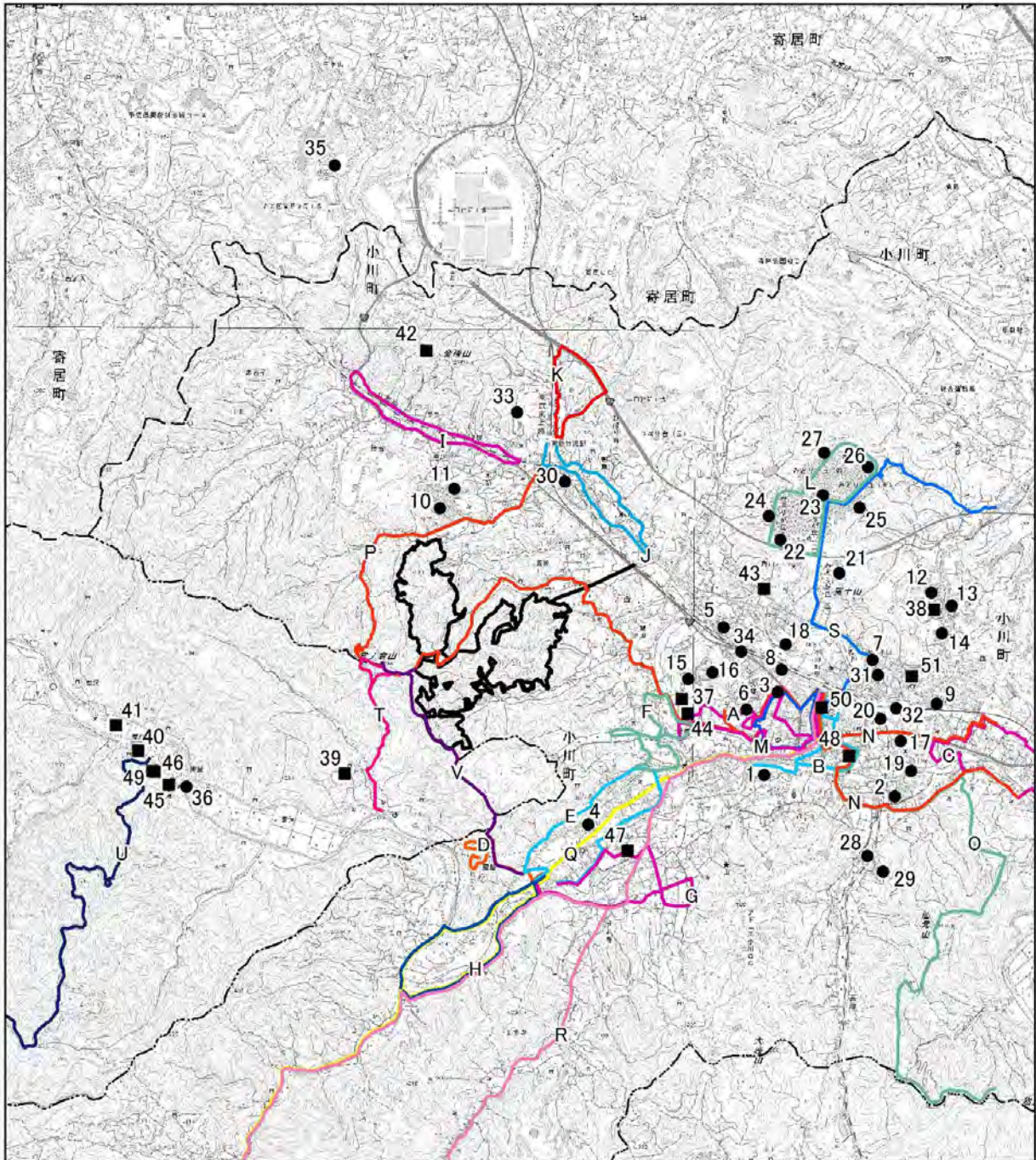
：「子育て応援ブック」（平成 27 年 9 月、寄居町子育て支援課 HP）

：「体育施設利用案内」（東秩父村 HP）

：「東秩父村の観光施設・名所」（東秩父村産業建設課 HP）

：「観光案内」（東秩父村商工会 HP）

：「スポナビ！サイタマ！（施設一覧）」（埼玉県県民生活部スポーツ振興課 HP）



凡 例

対象事業実施区域及び関連施設

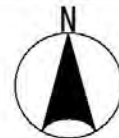
町村界

人と自然との触れ合いの場

- 公園(1~36)
  - その他施設(37~51)
- ハイキングコース等(A~V)

注：図中の番号は表 3-1-6-3 に対応する。

出典：「おがわ(施設)マップ」、「小川町子育て応援ナビ」(小川町HP)  
 「観光スポット」(小川町観光協会HP)、「子育て応援ブック」(平成27年9月、寄居町子育て支援課HP)、「体育施設利用案内」(東秩父村HP)、「東秩父村の観光施設・名所」(東秩父村産業建設課HP)、「観光案内」(東秩父村商工会HP)、「スポナビ!サイタマ! (施設一覧)」(埼玉県県民生活部スポーツ振興課HP)



1:50,000

0 0.5 1 1.5 2 km

図 3-1-6-2

主要な人と自然との  
触れ合いの活動の場

### 3-1-7 一般環境中の放射性物質の状況

対象事業実施区域周辺において、一般環境中の放射線測定が平成 23 年に 3 箇所で行われた。測定された放射線の測定結果は表 3-1-7-1 に、位置は図 3-1-7-1 に示すとおりである。

対象事業実施区域周辺における放射線の測定結果は、高さ 100 cm で 0.0418～0.0638 $\mu$ Sv/h であった。

表 3-1-7-1(1) 県有施設における放射線測定結果（小川高等学校）

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
植栽	100	0.0638	1	0.0724
側溝		0.065		0.1314
側溝		0.0548		0.0684
側溝		0.0596		0.1204
側溝		0.06		0.0962
集水マス		0.0606		0.054
側溝		0.0562		0.0638
側溝		0.0586		0.0778
集水マス		0.0586		0.0584
平均的な場所		0.0418		0.0534

注：測定日は平成 23 年 11 月 18 日。

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（令和元年 9 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 3-1-7-1(2) 県有施設における放射線測定結果（三ヶ山緑地公園）

測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
側溝	50	0.07	1	-
その他の遊具		-		0.126
平均的な場所		0.084		0.090

注：測定日は平成 23 年 11 月 21 日。

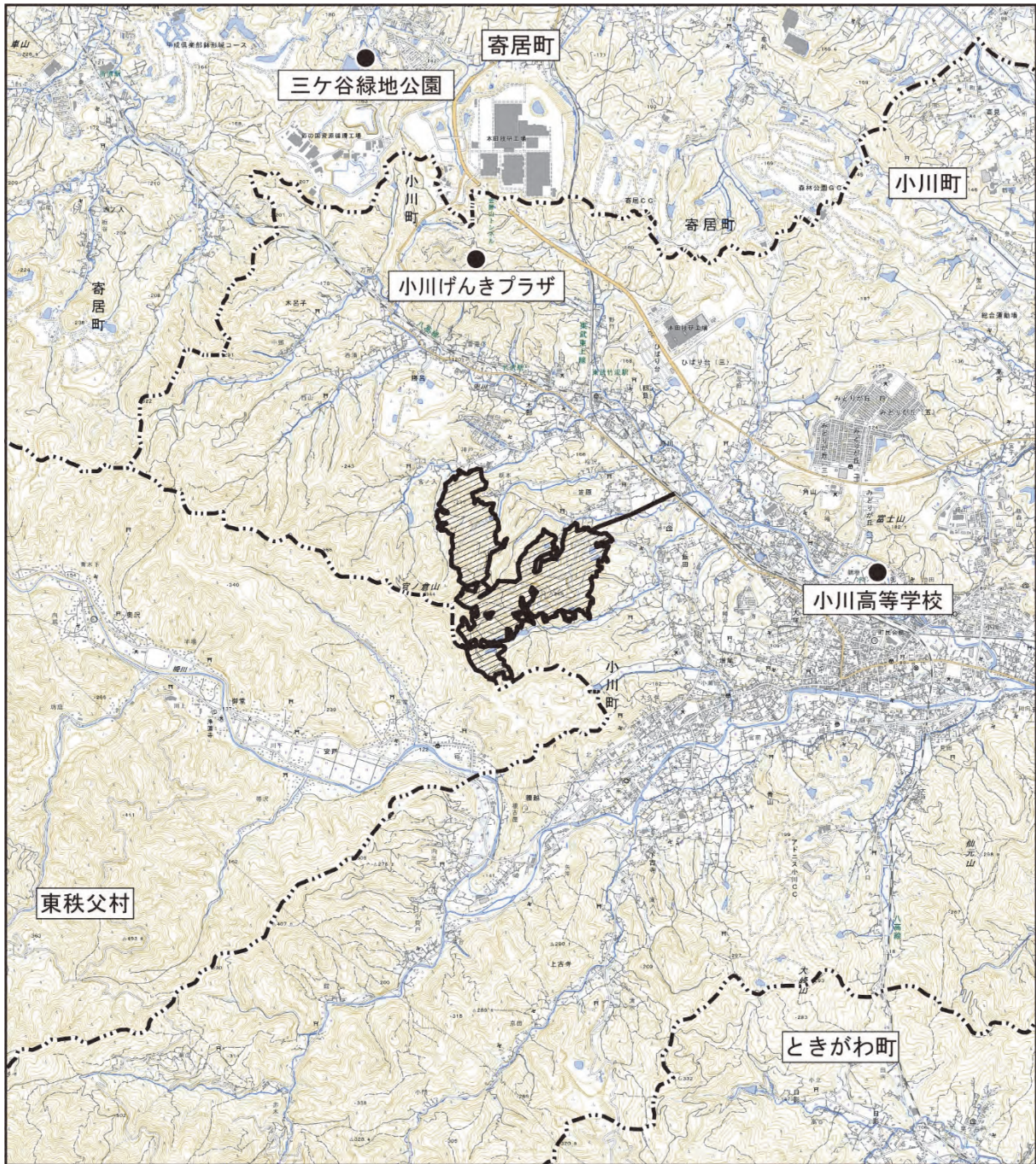
出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（令和元年 9 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 3-1-7-1(3) 県有施設における放射線測定結果（小川げんきプラザ）




測定箇所	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)	高さ (cm)	測定値 ( $\mu$ Sv/h)
その他	50	0.079	1	0.0834
その他		0.0616		0.0614
その他		0.0872		0.0918
その他		0.0702		0.0658
その他		0.06		0.0508
その他		0.0854		0.0782
その他		0.0762		0.074
その他		0.048		0.046
その他		0.0756		0.0744
その他		0.0728		0.0658

注：測定日は平成 23 年 11 月 18 日。

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」（令和元年 9 月、埼玉県環境部水環境課 HP）



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  放射線調査地点

N



1:50,000

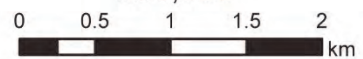


図 3-1-7-1

放射線調査位置地点

出典：「県有施設における放射線の測定結果について」  
(令和元年9月、埼玉県環境部水環境課 HP)